取扱説明書

S-81

スピーカーシステム

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に「ご使用の前に」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口のご案内･修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムのインピーダンスは、6 Ωです。負荷インピーダンスが6 Ω～ 16 Ωのアンプ（スピーカー出力端子に6 Ω～ 16 Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上を入力しない。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 注意

[設置]

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、おのおのの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。
- この製品は天井に吊り下げたり壁に掛けたりしないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- グリルはマグネットで固定されています。水平方向に力を加えると落下する恐れがあります。お手入れはグリルを外してから行ってください。

[使用方法]

- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 同軸ユニット（トゥイーター、ミッドレンジ）には強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。振動板を破損する恐れがあります。

付属品の確認

- スパイク受け× 3

- 固定金具× 1

- 固定金具用ネジ× 1
- グリル× 1
- クリーニングクロス× 1
- 保証書× 1
- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内× 1
- 取扱説明書（本書）

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5 ～6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

クリーニングクロス（付属）の取り扱いについてのお願い

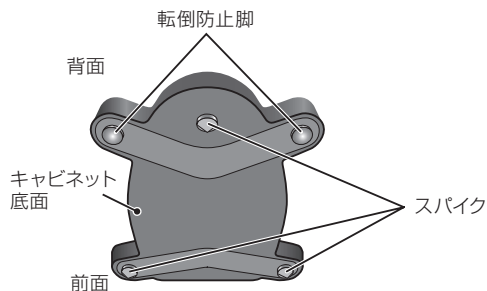
ホコリなどで汚れたままのクリーニングクロスを使用すると、本機の表面にキズがつく恐れがあります。クリーニングクロスが汚れたときは、以下のように洗濯をしてください。

- 中性洗剤を1 %程度に薄めて、もみ洗いをしてください。そのあと、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
- 洗濯した際に色落ちする場合がありますが、拭き取り性能には問題ありません。

クリーニングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店でクリーニングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センターでご購入をお願いいたします。

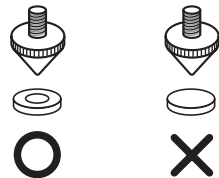
設　置

設置のしかた

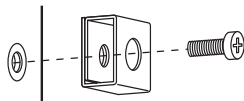
本機は 3 点（前面側の 2 本の脚および背面側中央）のスパイクを使って設置します。

手順

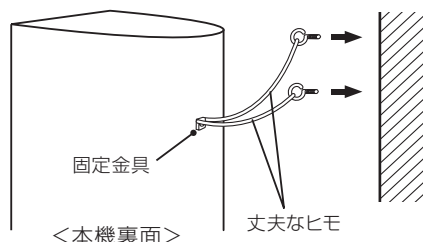
1. **スパイクが載る設置場所 3 カ所に、あらかじめスパイク受けを置いておきます。**
2. **スピーカーをスパイク受けの上に立てて、キャビネットにガタツキがないようにします。**

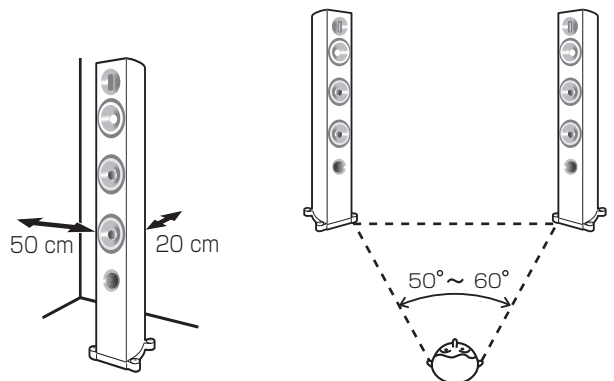
ご注意

スパイク受けは下図のように、中央にくぼみのある面を上にして置いてください。

スパイク受けを使用せずに本機を設置した場合、設置した床などにキズをつける可能性があります。設置する際は、スパイク受けを使用することをお勧めします。

転倒防止金具の取り付け

- 付属のネジを使って固定金具を裏板のネジ穴に取り付けます。

- 固定金具に丈夫なヒモ（市販）を使用して、確実に本機を柱や壁に固定してください。また、固定する柱や壁は、スピーカーシステムの重量に十分に耐える強度があることを確認してください。固定したあとは、必ず転倒しないことを確認してください。
- 転倒した場合、故障の原因となることがあります。

裏板に取り付けた固定金具を、直接壁に掛けないでください。この金具は転倒防止のため、丈夫なヒモを使用する際にご利用ください。

必ず 2 本の丈夫なヒモを固定金具に取り付けて、上の方に開いて固定してください。

設置場所について

- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。後壁からの距離で低音の量感が調整できます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。
- 左右のスピーカーは、リスニングポジションに対して等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。
- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビなどの画面となるべく同一平面になるように置いてください。
- テレビなどと組み合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビを左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムをリスニングポジションから約 50°～ 60°の角度に設置するのが理想的です。
- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また底面へはじゅうたんなどで対策することをお勧めします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで対策すると、定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。
- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステム背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをお勧めします。

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

🛇 設置上のご注意

- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。転倒した場合、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

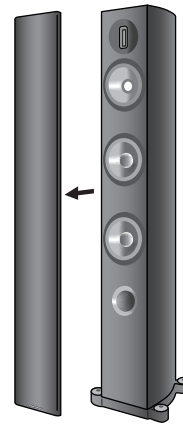
- 本機を設置するときは、必ず転倒・落下防止対策を行ってください。地震などで落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

グリルの着脱

このスピーカーシステムにはグリルが付属しています。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

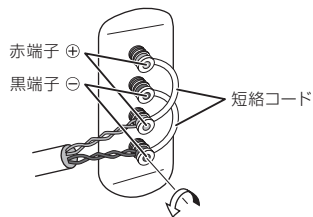
1. 取り付けるときは、グリルを本体に合わせて取り付けます。
2. 外すときは、グリルの中央付近を両方の手で持ち、手前に引っぱってグリルを外します。

⚠ 注意

- グリルの固定にマグネットを使用していますので、磁気の影響を受けやすい機器（ブラウン管テレビなど）にグリルを近づけないでください。

接　続

コードの接続

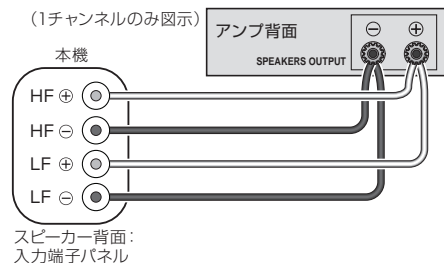
1. アンプの電源スイッチを切ってください。
   (POWER OFF)
2. スピーカーシステム裏側の入力端子 (下側) へスピーカーコードを接続します。入力端子の極性は赤がプラス (＋)、黒がマイナス (−) です。
3. スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます (詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください)。

手で下側の入力端子のツマミを左側 ( ) に回して緩め、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、短絡コードと共にツマミを締め付けます。

🚫 接続に関してのご注意

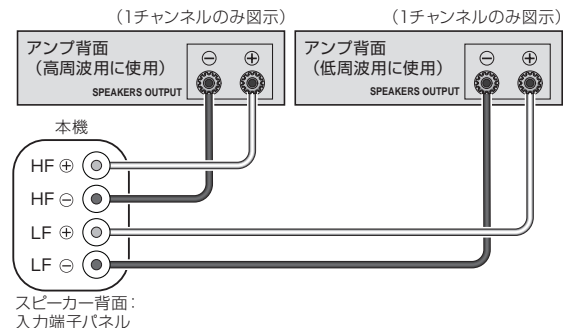
- 本機にはスピーカーコードは付属しておりません。
- 本機の入力端子はバナナプラグでの接続も可能です。
- バナナプラグをご使用の際は、入力端子の先端のキャップを外してください。
- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

バイワイヤリング接続

本機は、バイワイヤリング接続が可能です。スピーカーコードは片チャンネルあたり低音用と高音用のそれぞれに 2 本必要です。低音用と高音用にそれぞれ異なったコードを使用し、変化のある音色を楽しむこともできます。

1. アンプの電源スイッチを切ってください。
   (POWER OFF)
2. 入力端子の 2 本の短絡コードを外します（高音用スピーカーと低音用スピーカーが分割される）。外した短絡コードはなくさないように、大切に保管してください。
3. 入力端子の上 2 つには高音用、下 2 つには低音用コードをそれぞれ接続します。

4. アンプからのコードは図のように接続してください。この際、コードの極性を逆にすると著しく音質を損なうので注意してください。
5. 通常の接続に戻す場合は、すべてのスピーカーコードを外してから、元のとおり短絡コードを取り付けてください。万一、短絡コードを紛失した場合は短く切ったスピーカーコードで代用することができます。

バイアンプ接続

さらにグレードの高い接続法としてバイアンプ接続があります。バイワイヤリングの時と同様に入力端子の短絡コードを完全に外した状態で、低音用入力端子には低音専用アンプの出力を、高音用には高音専用アンプの出力を接続します。

仕様

形式……位相反転式、トールボーイフロア型
スピーカー構成……4 ウェイ方式
　ウーファー……13 cm コーン型 x 2
　ミッド / トゥイーター…. 同軸 13 cm コーン型 /2.5 cm ドーム型
　スーパートゥイーター……8 mm x 46 mm リッフェル型
インピーダンス……6 Ω
再生周波数帯域……30 Hz ～ 100 kHz
出力音圧レベル……85.5 dB（2.83 V）
許容入力：最大入力 (JEITA)……130 W
クロスオーバー周波数……370 Hz/3 kHz
外形寸法……267 mm（幅）x 1190 mm（高さ）x 280.5 mm（奥行）
質量……25.8 kg

付属品

スパイク受け……3
グリル……1
固定金具……1
固定金具用ネジ……1
クリーニングクロス……1
保証書……1
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内……1
取扱説明書（本書）

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

はパイオニア（株）の開発した PHASE CONTROL 技術コンセプトに基づき録音から再生までの位相特性のマッチングを図った製品に付与される商標です。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■ フリーコール 0120－944－222　■一般電話　03－5496－2986
■ファックス　03－3490－5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03－5496－2023
■ファックス　0120－5－81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－879－1910
■ファックス　098－879－1352

平成20年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.028

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号　<SRA1468-A>